

小学校 第6学年 社会科 「日本とつながりの深い国々」

育成を目指す資質・能力について

外国の人々の生活の様子等に着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え表現している。【思考・判断・表現】

事例の概要

	児童・生徒	教師
①	前時までの学習をふり返り、中国と日本の文化の様子をスライドで確認する。	クイズ形式のスライドにすることで、学習の見直しを持たせる。
②	本時の学習問題を確認する。	
③	教科書、資料集などから調べる。	
④	班ごとにJamboard上で、日本文化との共通点や相違点について整理し、特色を捉える。	Jamboard上で作業ができるよう、classroomにアップする。
⑤	日本の文化とのつながりについて考えを深める。	画像データをclassroomにアップする。
⑥	本時の学習をまとめる。	
⑦	Jamboardで本時の学習をふり返る。	Jamboard上でふり返りをさせ、前時までのふり返りを見ることができるようしておく。

【活用したソフトや機能】

タブレット端末：Jamboard、画像データ
電子黒板：パワーポイント

【事例におけるICT活用の場面】



【事例におけるICT活用のポイント】

- ① 朝の時間などを活用して、タイピングの練習を行い、文字入力に慣れさせておく。
- ② 総合的な学習の時間等で、Jamboardを活用した情報共有や整理・分析の方法を練習しておく。
- ③ classroomにログインしたり、資料を見たりする作業などを普段の学習の中でも取り入れて定着させておく。